

新型コロナウイルス感染症に関連する人権侵害について

日本で新型コロナウイルス感染症が流行し始めてから1年以上経過した現在も、依然として感染した人や医療従事者などに対する差別や偏見、インターネットやSNSでの誹謗中傷が続いています。全国的に、次のような事例が実際に報告されています。

- 感染した人の家族や医療従事者に対する行き過ぎた施設の利用制限や拒否
- 感染者個人の名前や行動を特定し、SNSなどで公表・非難する
- 県外で生活する家族が帰省したことに対する誹謗中傷

新型コロナウイルス感染症の感染拡大などによる状況が、感染症への人々の不安や恐れを大きくし、心の中の偏見や差別が表出した結果、上記のような事例が発生してしまったものと考えられます。ウイルスを遠ざけ、自分を守るためにとった行動でも、その行動により誰かを傷つけている可能性があります。私たちはそのことを心に留め、不確かな情報をうのみにせず公的機関の発表する情報を確認し、誤った情報や噂に惑わされることのないよう、思いやりの心をもって冷静に行動しましょう。

佐那河内人権教育研究協議会・佐那河内村教育委員会



- 佐那河内村立図書館（農振センター3階）
- 開館時間 / 平日 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00
- 閉館日 / 土・日・祝日・年末年始
- お問い合わせ 教育委員会 図書館担当

気になる新着本

蝉しぐれがにぎやかに降り注ぐ季節となりました。今回は先月号でご紹介した100冊の新着本の中から気になる2冊をご紹介します。村立図書館には、今回ご紹介した本以外にも魅力的な本がたくさんあります!! この夏ご予約があいていれば、ぜひお立ち寄りください。

【文学】

『オレたちバブル入行組』 池井戸潤著
文藝春秋（図書請求番号：913.6・イ・1665）



「やられたらやり返す、倍返しだ!」で有名な半沢直樹シリーズの第1巻です。バブル崩壊を経て銀行を取り巻く状況が様変わりする中、責任を押し付けられた半沢直樹が起死回生の逆転劇を成し遂げるストーリーです。著者の元銀行員という経験を生かし、銀行の実情をリアルに描いているため説得力があります。読後のスカッとした爽快感が最高で、なんどでも読み返したくなる1冊です。

【絵本】

『りんごかもしれない』 ヨシタケシンスケ著
ブロンズ新社（図書請求番号：E1・ヨ・1737）



テーブルの上に置いてあったりんご。でももしかしたらこれはりんごじゃないのかもしれない。そんなちいさな疑問から、どんどんふくらんでいくぼくの想像に目が離せません。かもしれないけど、そうじゃないかもしれない、一つのことをいろいろな視点で考えると世界がもっと楽しくなるかもしれない。子どもにも大人にも読んでほしい1冊です。